

連合「なんでも労働相談ダイヤル」(☎ 0120-154-052)
2015年10月 相談集計報告

○全体の特徴

■全体件数は、前年同月に比べて33件少なくなっている。年代別では、30代、50代、60代からの相談が前年同月に比べて件数、割合ともに増加した。

■雇用形態別では、正社員からの相談が全体の半数を占め、業種別では、「医療・福祉」が153件、18.5%と前年同月に比べて件数、割合ともに増加した。相談内容別では、「セクハラ・パワハラ・嫌がらせ」に関する相談が156件と最も多く13.1%を占め、前年同月より多い。続いて「解雇・退職強要・契約打切」、「雇用契約・就業規則」に関する相談が多くなっている。

■具体的な相談内容では、「単純なミスで何時間も叱られたり、職場で無視や罵倒される」など嫌がらせに関する相談は男女ともに多いが、「派遣先の社員から、仕事中に肩や胸を何気なく触られるので、派遣元に相談したところ、その職場への派遣契約が打ち切れ、別の職場へ派遣されることになった」「個人病院に勤めているが、妊娠を理由に退職するように言われた」など女性からはセクハラやマタハラに関する相談もあり、男女ともにハラスメントに関する相談が多く寄せられた。

		2015年		2014年			
集計対象期間		10月1日～10月31日		10月1日～10月31日			
受付件数 (受付件数のみ報告分含)		1,190		1,223			
報告(本部・地方)数		48		48			
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	634	53.3%	男性	626	53.1%	
	女性	556	46.7%	女性	554	46.9%	
年代 (不明除く)	10代	4	0.4%	10代	10	1.1%	
	20代	154	16.5%	20代	152	16.3%	
	30代	220	23.6%	30代	199	21.4%	
	40代	290	31.1%	40代	301	32.3%	
	50代	181	19.4%	50代	180	19.3%	
	60代	71	7.6%	60代	77	8.3%	
	70代	11	1.2%	70代	12	1.3%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	593	52.8%	正社員	604	52.8%	
	パート	209	18.6%	パート	189	16.5%	
	アルバイト	70	6.2%	アルバイト	82	7.2%	
	派遣社員	64	5.7%	派遣社員	61	5.3%	
	契約社員	89	7.9%	契約社員	107	9.4%	
	嘱託社員	9	0.8%	嘱託社員	13	1.1%	
	臨時・非常勤職員	8	0.7%	臨時・非常勤職員	4	0.3%	
	その他	81	7.2%	その他	83	7.3%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療、福祉	153	18.5%	医療、福祉	150	17.4%
	2位	製造業	132	15.9%	サービス業(他に分類されないもの)	143	16.6%
	3位	サービス業(他に分類されないもの)	122	14.7%	製造業	134	15.6%
	4位	卸売・小売業	97	11.7%	卸売・小売業	116	13.5%
	5位	運輸業	82	9.9%	運輸業	81	9.4%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	156	13.1%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	133	11.0%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	117	9.8%	解雇・退職強要・契約打切	122	10.1%
	3位	雇用契約・就業規則	101	8.4%	退職金・退職手続	97	8.0%
	4位	退職金・退職手続	85	7.1%	雇用契約・就業規則	87	7.2%
	5位	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	71	5.9%	不払い残業・休日手当・割増賃金未払	86	7.1%